

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(富塚西小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校が目指す子供の姿を理解し、児童のニーズをつかみ、有効な学校支援活動を拡大する。

学校支援活動の価値づけをし、「学校支援から協働へ」という考え方を、保護者、地域へ発信し、周知させる。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校運営基本方針について、理解した上で意見交換をし、熟議をすることができたと思う。取組の重点「キャリアとみづか」「支援活動の拡大」「学校安全」等、熟議の視点を絞ることで議論しやすくなり、議論が活性化し、深い部分まで意見を交換することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

委員がそれぞれの立場でどんな支援ができるのか、主体的な行動について提案をすることができた。小グループでの話し合いは効率的に多くの意見を集約でき、その後の全体熟議の質が高まった。

熟議内容が、その後の教育活動にすぐに反映され、次の協議会で検証することができたのはとても良かった。

(いじめの保護者アンケート、昼休みの見守り支援 等)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

「富西小コミスクだより」やHPでの情報発信ができた。また、委員自身がそれぞれの立場で、周囲に伝えるよう努めたが、十分ではないと感じる。

民生委員の会合やPTAの会議等で、熟議内容を定期的に発信するのも効果的な方法だと考えられる。次年度以降、取り組んでみたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

「学校支援」から「協働」への 合言葉を周知させ、子供たちを皆で育てる意識を高め、あらゆる場面で学校支援活動を行う。